

CASBEE京都-新築(2015年版)
(仮称)プレザンスロジェ六地蔵 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2015年版)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
住戸建具T-2										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
●自然 A(全国版準用)										
●自然 B(推奨内容)										
●自然 B(推奨内容)										
3.2 グレア対策										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
F☆☆☆☆使用, VOC含まない										
4.2 換気										
●自然 A(全国版準用)										
4.3 運用管理										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
インターネット100mbit以上装備										
1.2 心理性・快適性										
●とも C(独自加点)										
●自然 D(独自基準)										
1.3 維持管理										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
2.2 部品・部材の耐用年数										
●大切 A(全国版準用)										
劣化対策等級: 構造躯体等級3										
給水、排水管にVP管を使用、E不使用										

2.4 信頼性	1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
						2.8	0.30	2.6	1.00
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
1	1	階高のゆとり			-	-	2.2	0.50	
2	2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	-	-	3.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									
1	1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)	2.8	1.00	-	-	
2	2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.20	-	-	
3	3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	2.0	0.20	-	-	
4	4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.10	-	-	
5	5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.10	-	-	
6	6	バックアップスペースの確保	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出									
1	1	生物環境の保全と創出	●とも	A'(全国版準用)	-	0.30	-	-	2.2
2 まちなみ・景観への配慮									
2	2	まちなみ・景観への配慮	○	C(独自加点) D(独自基準)	1.0	0.30	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮									
3	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも、 自然	A'(全国版準用)	3.0	0.40	-	-	3.0
3	3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)	2.5	0.30	-	-	2.5
LR 建築物の環境負荷低減性									
LR1 エネルギー									
1 建物外皮の熱負荷抑制									
1	1	建物外皮の熱負荷抑制			-	0.40	-	-	3.6
2 自然エネルギー利用									
2	2	自然エネルギー利用	●自然	A(全国版準用)	3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化									
3	3	設備システムの高効率化	●自然	C(独自加点)	3.0	0.10	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEI 非住宅 1.00	住宅(専有部) 0.98	4.3	0.50	-
		集合住宅の評価(3c)			一次消費エネルギー表		1.0	-	-
		集合住宅の評価(3c)					4.3	1.00	-
4 効率的運用									
		集合住宅以外の評価					3.0	0.20	-
		4.1 モニタリング					-	-	-
		4.2 運用管理体制					3.0	-	-
		集合住宅の評価					3.0	1.00	-
		4.1 モニタリング					3.0	0.50	-
		4.2 運用管理体制					3.0	0.50	-
LR2 資源・マテリアル									
1 水資源保護									
1	1.1	1.1 節水			-	0.30	-	-	3.1
1	1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.20	-	-	3.0
		1 雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)	3.0	0.40	-	-	-
		2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.60	-	-	-
					3.0	0.70	-	-	-
					3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減									
2	2.1	2.1 材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	3.1	0.60	-	-	3.1
2	2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用			2.0	0.10	-	-	-
2	2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.20	-	-	-
2	2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	3.0	0.20	-	-	-
2	2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.10	-	-	-
2	2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.10	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避									
3	3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用			4.0	0.20	-	-	3.3
3	3.2	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.30	-	-	3.3
		1 消火剤			3.0	0.70	-	-	-
		2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-
		3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
					3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境									
1 地球温暖化への配慮									
1	1	1 地球温暖化への配慮			ライサイクルCO2排出量計算		4.1	0.33	-
2 地域環境への配慮									
2	2.1	2.1 大気汚染防止					2.2	0.33	-
2	2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)	3.0	0.25	-	-	-
2	2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.50	-	-	-
		1 雨水排水負荷低減			2.0	0.25	-	-	-
		2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	-
		3 交通負荷抑制			-	-	-	-	-
		4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.50	-	-	-
					2.0	0.50	-	-	-
3 周辺環境への配慮									
3	3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.1	0.33	-	-	3.1
		1 騒音			3.0	0.40	-	-	-
		2 振動			3.0	1.00	-	-	-
		3 悪臭			-	-	-	-	-
3	3.2	3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
		1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
		2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-
		3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3	3.3	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-
		2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)	3.0	0.30	-	-	-

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる